

科目名	55. クリティカルケア演習				
履修年次	2年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 (20時間)
ディプロマポリシー(DP)	☐ 人を大切にするところ ☒ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 ☐ チームの中で連携・協働するための力 ☐ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	生命の危機的状態にある対象に必要な看護を理解することができる				
到達目標	生命の危機的状態にある対象にいのちを守るために必要な看護を表現することができる				
評価方法	学習到達度基準を用いたレポート評価（100点）による総合評価を行う				
使用テキスト	系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 医学書院				
参考文献	高齢者と成人の周手術期看護 2 術中/術後の生体反応と急性期看護 第3版 医歯薬出版 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学① 医学書院 系統看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床薬理学 医学書院				
教育方法と学生への期待 (求めること)	生命の危機状態にある生活者の事例を通して臨床判断能力を育成し、看護を実践する思考過程と方法を学びます。クリティカルケアの講義で学んだ知識・技術を活用し、クリティカルケアが必要な対象の看護について事例をもとに検討と発表を行います。生命の危機状態にある対象とその家族について理解し、生命維持・全身状態改善・悪化防止・QOL向上のために必要な看護について理解を深めていきましょう。 自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習方法を取り入れています。グループ学習が中心となるので、コミュニケーション能力や協調性も求められます。参加しなければ効果的な学びをすることはできませんので、グループメンバーとともに学習し続けてください。				
回	学習項目	学習内容			授業方法
1	PBLチュートリアル のガイダンス	ビジョンゴールの組み立て、学習計画の立案、事例紹介、情報収集			講義 演習
2	生命の危機的状態にある人への看護①	情報収集、アセスメント、看護計画			講義 演習
3		術前の看護実践、報告			演習 (実習室)

4	生命の危機的状態にある人への看護①	情報収集、アセスメント、看護計画、評価	講義 演習
5	生命の危機的状態にある人への看護②	情報収集、アセスメント、看護計画	講義 演習
6		術後1日目の看護実践（術後1日目の観察）、報告	演習 (実習室)
7		術後1日目の点滴・ドレーン等を留置している患者の寝衣交換 看護実践、報告	演習 (実習室)
8		情報収集、アセスメント、看護計画、評価	講義 演習
9		クリティカルケアに必要な看護技術 ストーマ管理、創傷処置（創洗浄、創保護） ドレーン類の挿入部の処置	演習 (実習室)
10	まとめ	成果発表	演習